

## 2014年（平成26年）の世界の天候（速報） ～主な異常気象と気象災害～

### ○低緯度域各地で異常高温

マレーシアからインドネシア、アフリカ西部、マダガスカル北部及びその周辺、カリブ海周辺など低緯度域の各地で、6月以降に異常高温となる月が多かった。

### ○米国は中西部で異常低温、南西部で異常高温・干ばつ

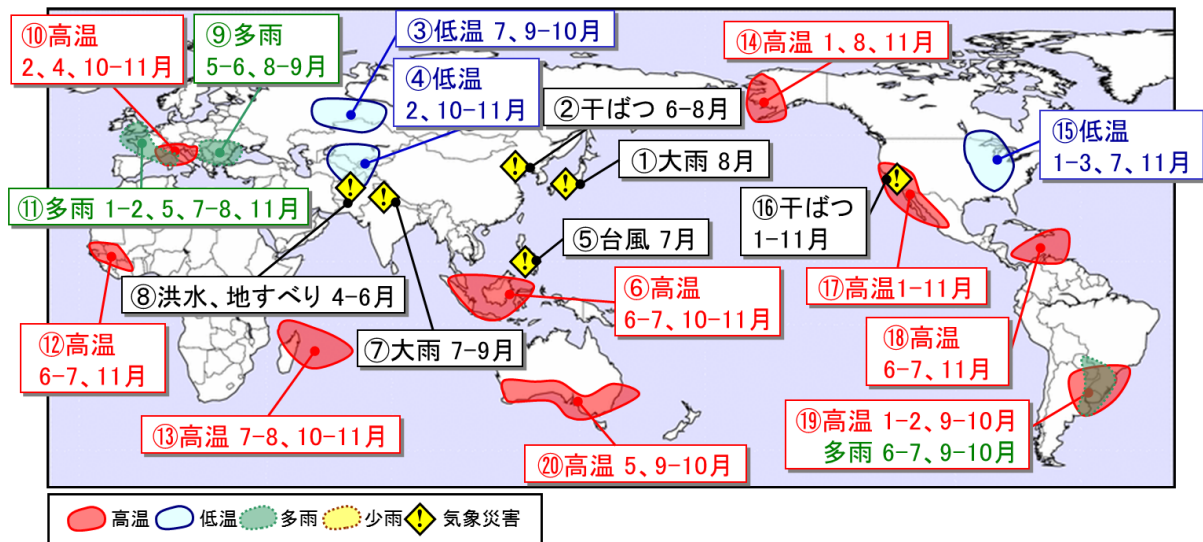
米国中西部及びその周辺では異常低温となる月が多く、一方、米国南西部からメキシコ北西部にかけてはほぼ1年を通して異常高温となり、米国南西部は干ばつが続いた。

### ○大雨により大きな気象災害

アフガニスタン北部（4～6月）、インド各地（7～9月）、ネパール（8月）、パキスタン（9月）などでは、大雨により大きな気象災害が発生した。

本資料は、世界各国からの1～11月までの観測データ及び12月12日までに入手した災害情報をもとに、速報としてまとめたものです。確定値による資料は、平成27年1月15日に気象庁の世界の異常気象のホームページで発表します。

2014年に発生した主な異常気象・気象災害は以下のとおり。



### 世界の主な異常気象・気象災害（2014年（平成26年）速報）

比較的大きな規模の「異常気象」及び気象が原因となって生じた大きな災害（「気象災害」）のおおよその地域・時期を示した。図中の番号は概況文の番号と対応している。

- ※ 異常気象：ある場所において30年に1回以下の稀な頻度で発生する現象のこと。本資料では月平均気温や月降水量から異常と判断された現象を示している。
- ※ 災害情報：米国国際開発庁海外災害援助局とルーベンカトリック大学災害疫学研究所（ベルギー）の災害データベース（EM-DAT）や各国の政府機関・国連の発表等に基づいている。

**① 日本の大雨 (8月)**

日本は7月30日から8月26日にかけて各地で大雨に見舞われ、土砂災害などにより全国で80人以上が亡くなった。

これらの大雨について、気象庁は「平成26年8月豪雨」と命名した。8月の西日本太平洋側の月降水量は平年比301%となり、8月としては1946年の統計開始以来で最も多くなった。

**② 中国北東部・東部の干ばつ (6~8月)**

中国の北東部と黄河及び淮河の流域では、6~8月の降水量が平年の半分に満たないところがあり、深刻な干ばつを引き起こしたと伝えられた。

中国リャオニン(遼寧)省のシェンヤン(瀋陽)では、6~8月の3か月降水量が163mm(平年比37%)、中国ホーナン(河南)省のチェンチョウ(鄭州)では146mm(平年比41%)だった。

**③ 西シベリア南部の低温 (7、9~10月)**

西シベリア南部では、7月と9~10月に異常低温となった。西シベリア南部のタラでは、7月の月平均気温が15.7℃(平年差-3.0℃)、9~10月の2か月平均気温が2.6℃(平年差-3.1℃)だった。

**④ 中央アジア南部の低温 (2、10~11月)**

中央アジア南部では、2月と10~11月に異常低温となった。カザフスタン南部のクジルオルダでは2月の月平均気温が-14.6℃(平年差-11.2℃)、ウズベキスタン西部のウルゲンチでは10~11月の2か月平均気温が5.2℃(平年差-4.4℃)だった。

**⑤ フィリピンの台風 (7月)**

フィリピンでは台風第9号により、100人以上が死亡したと伝えられた。

**⑥ マレーシア~インドネシアの高温 (6~7、10~11月)**

マレーシアからインドネシアにかけて、6~7月と10~11月に異常高温となった。マレーシアのクアラルンプールでは、6~7月の2か月平均気温が29.7℃(平年差+2.0℃)だった。インドネシアのタラカン(カリマンタン島)では、10~11月の2か月平均気温が28.0℃(平年差+0.9℃)だった。

**⑦ インド・ネパール・パキスタンの大雨 (7~9月)**

インド各地で7~9月に、ネパールで8月に、パキスタンで9月に、大雨により洪水や地すべりが発生し、合計で、インドでは1000人以上、ネパールでは250人以上、パキスタンでは360人以上が死亡したと伝えられた。

**⑧ アフガニスタン北部の洪水、地すべり (4~6月)**

アフガニスタン北部では、4~6月に洪水や地すべりが発生し、合計で750人以上が死亡したと伝えられた。

**⑨ ヨーロッパ南東部の多雨 (5~6、8~9月)**

ヨーロッパ南東部では、5~6月と8~9月に異常多雨となった。ブルガリア東部のバルナでは、5~6月の2か月降水量が307mm(平年比397%)、ハンガリーのブダペストでは、8~9月の2か月降水量が337mm(平年比332%)だった。

セルビア、ボスニア・ヘルツェゴビナ、クロアチアで、5月中旬の洪水により合計で70人以上が死亡したと伝えられた。

⑩ ヨーロッパ南部の高温 (2、4、10~11月)

ヨーロッパ南部では、2月、4月、10~11月に異常高温となった。イタリア北東部のトリエステでは、2月の月平均気温が10.3℃(平年差+4.1℃)、フランス南東部のニースでは、4月の月平均気温が15.3℃(平年差+1.8℃)、10~11月の2か月平均気温が16.9℃(平年差+2.4℃)だった。

⑪ ヨーロッパ西部の多雨 (1~2、5、7~8、11月)

ヨーロッパ西部では、1~2月、5月、7~8月、11月に異常多雨となった。フランス南東部のニースでは、1~2月の2か月降水量が436mm(平年比381%)、英国東部のウォディントンでは、5月の月降水量が118mm(平年比245%)、フランスのバスティア(コルシカ島)では、7~8月の2か月降水量が154mm(592%)、フランス南部のペルピニャンでは、11月の月降水量が266mm(平年比436%)だった。1月と2月の英国の月降水量は、どちらも1910年の統計開始以降で3番目に多かった(英国気象局)。

⑫ アフリカ西部の高温 (6~7、11月)

アフリカ西部では、6~7月と11月に異常高温となった。セネガル西部のディウルベルでは、6~7月の2か月平均気温が30.5℃(平年差+1.2℃)、コートジボアールのヤムスクロでは、11月の月平均気温26.2℃(平年差+0.9℃)だった。

⑬ マダガスカル北部及びその周辺の高温 (7~8、10~11月)

マダガスカル北部及びその周辺では、7~8月と10~11月に異常高温となった。フランス領レユニオン島のサンドニでは、7~8月の2か月平均気温が22.1℃(平年差+0.9℃)、マダガスカルのアンタナナリボでは、10~11月の2か月平均気温が21.3℃(平年差+2.1℃)だった。

⑭ アラスカ西部の高温 (1、8、11月)

アラスカ西部では、1月、8月、11月に異常高温となった。米国アラスカ州のコツェビューでは、1月の平均気温が-9.8℃(平年差+9.1℃)、8月の月平均気温が14.7℃(平年差+3.7℃)、11月の月平均気温が-7.0℃(平年差+5.6℃)だった。

⑮ 米国中西部及びその周辺の低温 (1~3、7、11月)

米国中西部及びその周辺では、1~3月、7月、11月に異常低温となった。米国ミシガン州のデトロイトでは、1~3月の3か月平均気温が-5.8℃(平年差-4.9℃)、米国インディアナ州のインディアナポリスでは、7月の月平均気温が21.2℃(平年差-3.0℃)、11月の月平均気温が2.2℃(平年差-4.2℃)だった。

⑯ 米国カリフォルニア州の干ばつ (1~11月)

米国カリフォルニア州では、昨年(2013年)から引き続く干ばつによる森林火災や農業被害が伝えられた。米国カリフォルニア州のロサンゼルスでは、1~11月の11か月降水量が110mm(平年比41%)だった。なお、ロサンゼルスの昨年(2013年)の年降水量は、95mm(平年比30%)だった。

⑰ 米国南西部~メキシコ北西部の高温 (1~11月)

米国南西部からメキシコ北西部にかけて、1~11月に異常高温となった。米国カリフォルニア州のサンフランシスコでは、1~11月の11か月平均気温が17.0℃(平年差+2.1℃)だった。

**⑱ カリブ海周辺の高温 (6~7、11月)**

カリブ海周辺では、6~7月と11月に異常高温となった。コロンビア北部のカルタヘナでは、6~7月の2か月平均気温が29.3℃(平年差+1.0℃)、11月の月平均気温が28.7℃(平年差+0.9℃)だった。

**⑲ ブラジル南部及びその周辺の高温 (1~2、9~10月)・多雨 (6~7、9~10月)**

ブラジル南部及びその周辺では、1~2月と9~10月に異常高温、6~7月と9~10月に異常多雨となった。ブラジル南部のフロリアノポリスでは、1~2月の2か月平均気温が26.5℃(平年差+1.4℃)、9~10月の2か月平均気温が21.1℃(平年差+1.8℃)だった。パラグアイ中部のコンセプションでは、6~7月の2か月降水量が401mm(449%)、ブラジル南部のバジェでは、9~10月の2か月降水量が461mm(平年比160%)だった。

6月には、ブラジル南部、パラグアイ、アルゼンチンで洪水が発生し、10人以上が死亡し、70万人以上が影響を受けたと伝えられた。

**⑳ オーストラリア南部の高温 (5、9~10月)**

オーストラリア南部では、5月と9~10月に異常高温となった。オーストラリア南部のセドゥーナでは、5月の月平均気温が17.6℃(平年差+2.9℃)、オーストラリア南東部のネルソン岬では、9~10月の2か月平均気温が14.3℃(平年差+1.6℃)だった。オーストラリア気象局によれば、オーストラリアの5月と10月の月平均気温は、1910年の統計開始以降で、それぞれ3番目と2番目に高かった(オーストラリア気象局)。

※ 世界の天候や異常気象に関する最新の情報は、気象庁ホームページで毎週更新しています。

【世界の天候】 <http://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/monitor/index.html>

【世界の異常気象】 [http://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/monitor/extreme\\_world/index.html](http://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/monitor/extreme_world/index.html)

この件に関する問い合わせ先：気象庁 地球環境・海洋部 気候情報課 異常気象情報センター  
03-3212-8341 内線 3157